

国内初の試みであるコアラのウォークスルー展示と今後の施設運営

○落合晋作, 村上浩一, 永榮大樹

鹿児島市平川動物公園は日本に初めてコアラが来園した動物園のひとつで、1984年から延べ90頭以上を飼育してきた。国内の繁殖計画では当面60頭の飼育が目標とされており、当園においても飼育施設拡張の必要に迫られた。一方、飼育当初からの施設は築37年経過し、老朽化と動物福祉面での更新を鑑み、改築の計画が2019年より協議された。当初は既存屋外展示場への空調と壁面の設置が計画されたが、本種の生息環境の再現や観覧者の興味を引く展示を目指し、国内初のウォークスルー展示にて新築することとした。2020年5月に着工し、2021年3月末にオープンした。新展示室は総工費約2.4億円で(解体費、寝室棟、イベント広場含む)延床面積327㎡、室内は4区画に分け、採光用のガラス窓やFRP天板を一部採用した。室内は網やガラスなどの隔てるものがなく、コアラと同じ空間で観察することができる。そのため鳴き声などの仕草やユーカリのにおいなども感じることができ、本種の生態をより深く知ることができる施設となった。また他個体を容易に視認でき、発情行動やそれに反応する行動等も誘発でき、エンリッチメントにも貢献している。ユーカリの栽培にも取り組み、採食や止まり木にも活用されている。新施設は、現時点では「コアラが暮らす森」のような雰囲気はないが、ユーカリ等の育成と行動や採食等の選択肢を増やすことで、野生下と同様に暮らせる施設として成熟し、域外保全や情報発信施設として様々な課題に取り組んでいきたい。

○令和3年度(公社)日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会

令和4年2月17日(木)

WEB開催(熊本市動植物園開催)